



# Rin Rin No.81

りんりん会報 平成26年9月発行



りんりんの会  
乳がん体験者の会

**\* 凛 (りん) として...自分のために \***  
**\* 輪 (りん) として...仲間のために \***  
**\* 鈴 (りん) として...社会のために \***

夏の厳しい暑さも、日に日に和らぎ過ごしやすい季節となりました。

とはいえ、残暑が厳しい日々がまだまだ続くと思われませんが、皆さん、元気にお過ごしでしょうか？

りんりんでは7月の情報交換会、8月のメイクアップ講座をそれぞれ新病院で開催させていただきましたが、皆さんのご協力のおかげで、迷子になる方も無く、盛会の中で終了することが出来ました。(メイク講座の報告書は、病院HPに更新していただきましたので、是非、ご覧になってくださいね。)

お仕事や体調の都合などで定例会やりんりん事務所(毎月第2・第4水、13時～16時)に参加できない方もいらっしゃるかと思います。りんりんの活動について具体的にお知りになりたい方、ご相談がある方は受診や検査の時に、遠慮なくがんサロン(2階化学療法室隣り)にお立ち寄りください。高橋(りんりん代表)がお待ちしております。日があります。(詳細は別紙資料をご覧ください。お友達に声をかけて、一緒にでも大丈夫ですよ！)

同じ病気の体験者としてお力になれることがあれば、りんりんは喜んでお手伝いさせていただきます(^\_^)

## \* りんりん・今後の活動予定とお知らせです。 \*

### ～9月～

#### ● 9/6(第1土):下着の相談・試着会

9:30～ 3階会議室にて

※下着やパッドについて、情報交換したり、ワコールリマンマのアドバイザーさんから、実際に商品を手しながら情報をいただいたりします。

※11:30～15:00 個人相談(希望の方)の時間です。(その間、手作りのパッドづくりをします。関心のある方は一緒にどうですか?)

#### ● 9/23(火):りんりんハイキング

岩出山・内川散策&楓庵(スイーツを堪能)

※りんりん初企画です。自然の中を散策しながら、コロナも体も、しっかりと癒されてみませんか？



### ～10月～

#### ● 10/11(第2土):第9回 りんりん研修会

13:00～ 大崎市古川保健福祉プラザにて

\* つなげよう!ピンクリボンの輪・響かせよう!りんりんの思い \*  
※吉田龍一先生の乳がんに関する講演、大塚弓子先生のリンパ浮腫の講演・実践を予定しています。是非、ご参加ください!

#### ● 10/25(第4土):ピンクリボンスマイルウオーク in 仙台(勾当台公園・5kmコース)

※今回のゲストはアグネスチャンさん・舞の海秀平さん・石田孝宣先生(東北大学病院腫瘍外科准教授)です。  
※参加希望の方は、吉田先生の受診時又はがんサロンに資料があります。各自電話又はインターネットでお申し込みください。

### ～11月～

#### ● 11/22(第4土):りんりん定例会(情報交換会) 9:30～ 3階会議室にて

※どなたでも予約なしで参加可能です。(参加費 300円・飲み物は各自持参ください。不安なこと、一緒にお話ししましょう!)

#### ● 11/30(日):With You 東北 研修会 in 仙台(アエル) 12:30 開会

※吉田先生をはじめとして実行委員であるドクターや県内外の医療関係者の方々が患者と一緒に歩いていくために企画された研修会です。3回目となる今回、患者会活動報告(りんりんの会と石巻マンマの会パセリさん)と、瀬戸真由美さんの講演が予定されています。また、グループワークにも医師や看護師さんが一緒に入り、気兼ねなく情報交換や交流が出来ます。

※申込方法:下記のいずれかの方法をお願いします。

①同封した資料のはがきの部分を切り取り、必要事項を記入し、封書に入れて郵送。

②吉田先生の受診時又はがんサロンでパンフをいただき、はがきの部分を切り取って必要事項を記入し投函。



**\* 定例会に参加される方々へ!...開催場所は3階会議室です!飲み物は各自持参をお願いします!**

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田 龍一

## 夏の思い出

いよいよ夏到来。去年は7月半ばから8月初めまでずっと雨でしたが、今年は、梅雨もそんなに雨が降らず比較的いい天気だなーと思っていたら、お盆の頃から不安定な天気となり特に西日本では未曾有の集中豪雨による災害でたくさんのかたが亡くなりました。改めて、日本は自然災害が多い国だと実感しています。

さて、私は夏が大好きです。特に暑い夏が。宮城県は比較的夏も気温が上がらず過ごしやすいのですが、裏日本育ちの私は、逆に夏はジリジリと暑くないと夏らしくないと感じ、ストレスがたまります。子供の頃は、梅雨が明けて一気に夏の天気となると、毎日夏休みが待ち遠しく、勉強のことはいざ知らず何をして遊ぶのかばかり考えていました。

毎日友達と近くの高校のグラウンドや空き地で野球をしたり、プールにも毎日通い、真っ黒になっていましたな。お決まりの、夏休み最後になり宿題を泣き泣きやり、絵日記なんかほとんど捏造です。天気なんて覚えているはずもなく、古新聞を探し出して調べたりしていました。だいたい、毎日外で遊んでいたけなので絵日記にも特別なことを描きようがないのです。何も考えていなかった無邪気な頃ですね。不思議なことにヒマだと思ったことはなかったような気がします。

四方が山に囲まれた盆地でしたので、夏と言えば、深く青い空に入道雲、風もなくじっとしているだけで汗が出てくるほどの強烈な日射しと濃く短い影。そして、うるさいくらい蝉の声。昼下がりに、余りにも暑く、縁側の窓は全開、首を振る扇風機を中心に、冷たい板の間に母子共々寝そべて昼寝。外は蝉の声以外音はせず、人の気配も感じない。あと麦茶でしょうか。クーラーもまだ一般家庭に普及していなかった昭和40年代は、それが夏でしたね。

午後、野球をしていると急に暗くなり、涼しい風が吹いてきたかと思うとポツポツと雨が降りだし、あっという間にぎゅーと強くなり、慌てて軒下に逃げ込むのですが、必ずグラブをグラウンドに置き忘れるヤツがいてずぶ濡れになりながら取りに行ったり。夕立のときの雨の匂いというか土の匂いが懐かしい。そして虹ですね。不思議でしたね、あの色の変化が。自転車では街はずれの小川というか用水路にザリガニ、フナ、ドジョウ、ゲンゴロウ、ヤゴなどを取りにザルを持ってよく行きました。足を何カ所もヒルに吸われ痒いの何のって。帰りは駄菓子屋でアイスを買って食べ、いつも友達と一緒に何かやっていました。ゲームもケータイもパソコンも無い時代。外で遊ぶことが楽しくて仕方が無かった時代です。

夜は、江戸川乱歩の怪人二十面相シリーズをよく読みました。挿絵がリアルで薄気味悪く、ドキドキしながらも一気に読みました。今思えばすごい集中力と想像力(妄想力?)でした。漫画も暗記するほど何度も読み返しました。少年サンデーや少年マガジンなんて70~80円だったと記憶しています。

そして夏と言えば高校野球。昭和44年、朝からプールに行き、昼にご飯を食べに一旦家に戻ると、あの三沢高校対松山商業。0対0の接戦。昼飯を食べてまたプールに行き、夕方帰ってきたら、まだ試合をやっていたのには驚きました。延長18回日没再試合で、翌日再試合となり、テレビで応援、結局太田幸司を擁した三沢高校は負けてしまうのですが、とても悔しかった思い出があります。

夏という季節は今も昔も変わらないのでしょうか、自分の環境が変化したせいか、全く違う印象を持つようになりました。一日中外で遊ぶ事なんて無いからでしょうね。でも、蝉の鳴き声を聞いたり、虹を見たりすると、子供の頃の夏が思い出されます。あの頃に戻れるなら戻ってみたいですねえ。皆さんはどんな思い出がありますか？

### **\* 会員の皆さまからのご投稿をお待ちしています！ \***

- \* 吉田先生から毎回、素敵なエッセイをいただいておりますが、楽しみにされている方々も多いと思います。皆さん、どんな感想をお持ちでしょうか？また、御自身の体験談や後輩の方々へのメッセージなども合わせて、りんりんまでお寄せいただくと、励みにされる患者さん多いんじゃないかなと思います。是非、皆さんの感想や体験をご投稿願います。
- \* 匿名で掲載可能です。A4サイズ用紙の半分が埋まる程度の文字数までなら大丈夫です。連絡窓口を通してりんりんまでお寄せください。(受診時、吉田先生に直接手渡ししていただいてもOKですよ！) お待ちしています！！